

2026年度(令和8年度)におけるがん対策研究所の研修計画

(注1)対象病院の種類：①がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ②がん診療連携拠点病院医療従事者を優先 ③全ての医療機関を対象 ④がん診療連携拠点病院以外の医療従事者に限定 ⑤都道府県がん診療連携拠点病院の医療従事者に限定 ⑥一部の医療機関の医療従事者に限定(募集要項参照)

2026年4月時点

研修名	職種	対象			都道府県からの推薦	研修期間	募集定員	費用(税込み)	研修の目的・概要	開催日	開催場所		
		指導者養成	病院の種類(注1)								都道府県	会場名	
がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)	研修終了(テストなし)コース	相談員	以下の1)または2)のいずれかの要件を満たしていること。 1) 保健医療福祉機関(病院・診療所・保健所等)に所属する者 2) 医療・福祉関係の国家資格取得者 ※認定がん専門相談員の取得者もしくは取得希望者は、テストありコースを受講すること	○	③	無	2月27日(金)～11月30日(月)	無	○がん相談支援業務に従事する相談員の養成と質の維持向上を図るための研修。 ○講義学習(テストなし)を通して、がん対策の動向やがん治療に関する基礎的・専門的知識を学ぶ。	申込期間 2026年2月27日(金)～8月31日(月) 受講期間 2026年2月27日(金)～11月30日(月)	全国	国立がん研究センター教育研修管理システム(Eラーニング)	
	知識確認(テストあり)コース		以下の1)または2)のいずれかの要件を満たしていること。 1) 認定がん専門相談員に申請予定の者 2) テストを受講し知識の定着を希望する者	-	③	無	2日間	16,500円	○がん対策基本法およびがん対策推進基本計画に基づき、厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院においてがん相談に従事する相談員を養成する。 ○実際の相談場面を想定した事例を用いて個別相談支援業務におけるプロセスを学ぶ。	①2026年8月31日(月)～9月1日(火) ②2026年9月2日(水)～3日(木) ③2026年9月4日(金)～5日(土)	全国	オンライン型研修	
がん相談支援センター相談員基礎研修(3)	国指定コース(国指定拠点病院対象)	相談員	以下の要件を全てを満たしていること 1. 厚生労働大臣による指定を受けた「がん診療連携拠点病院」「特定領域がん診療連携拠点病院」「地域がん診療病院」「小児がん拠点病院」もしくは「国立がん研究センター」に所属する者 2. 申込時点で、がん診療連携拠点病院等の現況報告書にがん相談支援センターの「専従」「専任」として記載されている(見込み含む)者 *申し込み時点でがん相談の「専従」「専任」「兼任」として配置されている者が対象で、兼任の場合は業務の2割(週1日)以上をがん相談業務に従事している者 3. がん相談を主な業務とする医療・福祉関係の有資格者* *上記の資格を有していない者は、がん相談支援センターに所属し、かつ、同部署内の有資格者によるバックアップ体制が整っていることが望ましい 4. 病院長の推薦を受けている者 5. 以下の受講証書の交付を受けている者 ・平成26年度：基礎研修(1)(2) ・平成27年度以降：基礎研修(1)(2)研修終了コースもしくは知識確認コース 6. 個人の相談対応件数が1件/週以上の者	○	①	無	2日間	252	無	○がん対策基本法およびがん対策推進基本計画に基づき、厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院においてがん相談に従事する相談員を養成する。 ○実際の相談場面を想定した事例を用いて個別相談支援業務におけるプロセスを学ぶ。	2026年9月12日(土)～13日(日)	全国	オンライン型研修
	NCCが認めた組織(団体)が要件に従って提供するがん相談支援センター相談員基礎研修(3)		以下の要件を満たす者を対象とするが、具体的な受講要件については、開催団体の決定後にウェブサイト等で公開・周知する。 1. がん患者・家族等を支援する医療・福祉の施設に所属する有資格者 2. 以下の受講証書の交付を受けている者 ・平成26年度：相談員基礎研修(1)(2) ・平成27年度以降：相談員基礎研修(1)(2)研修終了コースもしくは知識確認コース	-	③	無	84	会員：33,000円 一般：44,000円	無	○がん対策基本法およびがん対策推進基本計画に基づき、厚生労働大臣が指定するがん診療連携拠点病院においてがん相談に従事する相談員を養成する。 ○実際の相談場面を想定した事例を用いて個別相談支援業務におけるプロセスを学ぶ。	2026年9月12日(土)～13日(日)	全国	オンライン型研修
がん相談支援センター相談員指導者研修	相談員	相談員	同一都道府県内の病院に所属する2～3人1組のチームとし、1都道府県あたり1チームまでの申し込みを受け付ける。なお、チームメンバーは異なる施設に所属する者で構成されることが望ましく、以下の要件全てを満たしていること。 1. 原則として厚生労働大臣による指定を受けた「がん診療連携拠点病院等」等に所属する者 2. がん相談支援業務に携わる実務者 3. 原則として相談支援を主たる業務とする医療・福祉関係の資格(看護師・社会福祉士・臨床心理士等)を有する者 4. がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)(3)の修了者で、国立がん研究センター主催、または各都道府県等で開催された「相談対応の質保証(QA)を学ぶ」研修等を受講し、がん相談対応評価表の使用経験がある者(後期日程までに受講予定でも可) 5. 本研修の全日程(前期2日および後期2日、計4日間)に参加可能な者 6. 都道府県がん診療連携協議会の下に組織される相談支援に関する部会の部会長(部会がない場合は、都道府県のがん対策主管課の長)の推薦を受けている者 7. 都道府県内のがん相談支援を取り巻く現状と課題、及び都道府県内で実施されている相談員研修の経過・進捗等について、十分に把握している者。 8. 都道府県内で実施される相談員研修の企画・運営に半年以上携わっている者。 9. 継続的に携わる意欲がある者。 10. オンライン形式の研修参加に必要な物品や環境を準備できる者。	○	②	有	4日間	45	33,000円	○前期日程：研修企画および研修計画発表 相談員のための研修を企画する際の知識など、必要な要素について学ぶ。 「相談員のための研修を企画する」という観点から、各都道府県チームで検討・計画した取り組み案のプレゼンテーションを行うとともに、さらに内容をよくするための検討を行う。 ○後期日程：情報から始まるがん相談支援 がん専門相談員の専門性である「情報支援」について、信頼できる情報を見極める力を養うとともに、正しく情報を活用し、利用者に応じて伝える力や視点を学ぶ。	○前期日程 2026年6月25日(木)～26日(金) ○後期日程 2026年10月6日(火)～7日(水)	全国	オンライン型研修
がん相談支援センター相談員指導者等スキルアップ研修 情報から始まるがん相談支援	相談員	相談員	○以下の要件を全てを満たしていること 1. 原則として厚生労働大臣による指定を受けた「がん診療連携拠点病院等」に所属する者 2. がん相談支援業務に携わる実務者 3. 原則として相談支援を主たる業務とする医療・福祉関係の資格(看護師・社会福祉士・臨床心理士等)を有する者 4. がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2)(3)の修了者 5. 国立がん研究センター主催、または各都道府県で開催された「相談対応の質保証(QA)を学ぶ」研修や相談対応モニタリング研修を受講しており、がん相談対応評価表の使用経験がある者 6. 本研修当日までにすべての事前課題を終え、全日程に参加可能な者 7. 所属長の推薦を得ている者 8. オンライン研修参加のための安定したネットワーク接続環境、および研修に集中できる静かな個室、パソコン、ヘッドセットなどの環境を準備できる者	○	②	無	2日間	45	22,000円	○地域で相談員の継続教育に携わる人材を支援するとともに、地域で活躍するがん専門相談員の個人的なスキルアップを目指す ○がん専門相談員の専門性である「情報支援」について、信頼できる情報を見極める力を養うとともに、正しく情報を活用し、利用者に応じて伝える力や視点を学ぶ	2026年10月1日(木)～2日(金)	全国	オンライン型研修
がん相談支援センター相談員指導者等スキルアップ研修 がん情報サービスサポートセンター研修	相談員	相談員	1. 「国立がん研究センター認定がん相談支援センター」の認定を受けた施設の実務者(相談員)であること。 2. 1. に該当しない場合には、「認定がん専門相談員」であること。 3. 相談援助を主たる業務とする医療・福祉に関する資格(看護師、社会福祉士、公認心理師等の国家資格、臨床心理士等の認定資格)を有していること。 4. 2025(令和7)年度までに、がん相談支援センター相談員基礎研修(3)を修了していること。 5. 所属長の推薦を得られること。 6. 研修内で得た相談者等の個人情報について、守秘義務を遵守できること。	○	⑥	無	1日間	15	無	がん情報サービスサポートセンターの見学の中で、信頼できる情報の収集、整備方法などの理解を深め、相談者のニーズやヘルスリテラシーに応じた情報の伝え方などを相談の同席やディスカッションを通して学ぶ。また、本研修での学びを自施設や地域に還元、普及できる人材の育成を目的とする。	2026年08月28日(金) 2026年10月16日(金) 2026年11月27日(金) 2026年12月18日(金) 2027年02月19日(金)	東京	国立がん研究センターがん対策研究所

がん登録 病院等実務者 初級認定試験	職種は特に問わない	医療機関等において、がん登録に携わる実務者、あるいはこれから携わる予定の者。	-	③	無	年1回 1ヵ月程度	無	8,800円	標準的ながん登録の実務の実施に必要な技能を有する実務者としての認定を行う。 認定試験を実施し、所定の成績を収めたものについて初級認定者として、国立がん研究センターより認定証を交付する。	2026年10月1日(木)～31日(土)	全国	外部会場によるCBT方式
がん登録 病院等実務者 初級継続研修	職種は特に問わない	○2025年度までに、初級認定者となっている者。	-	③	無	年1回 3ヵ月程度	無	無	○初級認定者を対象に、院内がん登録実務に関する知識・技術の向上を目的とする。 ◎この研修は、初級認定者認定更新試験を受験するための条件として位置付ける。	2026年6月22日(月)～9月30日(水)		国立がん研究センター がん対策研究所 教育研修管理システム (Eラーニング)
がん登録 病院等実務者 初級認定更新試験	職種は特に問わない	○医療機関において、院内がん登録に携わる実務者(携わる予定のものを含む)で、2025年度までにがん登録実務初級認定者となっている者のうち、2026年度の初級継続研修受講済の方。	-	③	無	年1回 1ヵ月程度	無	7,700円	○標準的な院内がん登録の実務に必要な技能を安定的に保つため、4年に一度認定の更新を行う。 ○2026年度に実施されるがん登録 病院等実務者 初級継続研修を受講することが、更新試験を受験する条件となる。 ○更新試験で所定の成績を収めることで、初級認定者が継続される。	2026年11月2日(月)～30日(月)	全国	外部会場によるCBT方式
がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)研修	職種は特に問わない	【一般枠】 ○以下の条件の全てに該当する者 ①2025年度までに初級認定者となっている者。 ②院内がん登録または全国がん登録実務2年程度の経験、あるいは院内がん登録症例数が1000例以上の院内がん登録実務経験者。 ③所属機関長の推薦を有する者。 ※厚生労働省が指定する「がん診療連携拠点病院等」以外の医療施設の者も受講可能であるが、「がん診療連携拠点病院等」勤務者を優先して選考する。	-	②	無	年2回 各5週間程度	各100名	無	【一般枠】 がん診療拠点病院等の指定要件にある「国立がん研究センター」による研修を修了した実務者としての認定を行う。 ○主要5部位以外のUICC TNM分類等の病期分類のコーディングを行うことができ、各種取扱い規約も理解するレベル(院内がん登録実務2年以上の経験相当)を目標とする。	①2026年6月8日(月)～7月13日(月) ②2026年8月10日(月)～9月14日(月)		国立がん研究センター がん対策研究所 教育研修管理システム (Eラーニング)
						年2回 各5週間程度	各20名	30,000円	【聴講枠】 ○受講に際しては、がん登録職歴書と希望動機を提出し、書類選考にて受講者を決定する。 ○研修受講のみ。	①2026年6月8日(月)～7月13日(月) ②2026年8月10日(月)～9月14日(月)		国立がん研究センター がん対策研究所 教育研修管理システム (Eラーニング)
がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)認定試験	職種は特に問わない	がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)研修【一般枠】受講修了者※	-	②	無	年2回 1ヵ月程度	各100名	8,800円	がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)研修修了後に実施する認定試験に合格した実務者に国立がん研究センターより認定証書を交付する。	①2026年8月3日(月)～31日(月) ②2026年10月1日(木)～31日(土)	全国	外部会場によるCBT方式
がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)継続研修	職種は特に問わない	○2025年度までに、中級認定者となっている者。	-	③	無	年1回 1ヵ月程度	無	無	○中級認定者を対象に、院内がん登録実務に関する知識・技術の向上を目的とする。 ◎この研修は、中級認定者認定更新試験を受験するための条件として位置付ける。	2026年6月22日(月)～9月30日(水)		国立がん研究センター がん対策研究所 教育研修管理システム (Eラーニング)
がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)認定更新試験	職種は特に問わない	○医療機関において、院内がん登録に携わる実務者(携わる予定のものを含む)で、2025年度までに中級認定者となっている者のうち、2026年度の中級継続研修受講済の方。	-	③	無	年1回 1ヵ月程度	無	7,700円	○院内がん登録実務者として、知識レベルを一定水準に保つことを目的として、4年に一度認定の更新を行う。 ○2026年度に実施されたがん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)継続研修を受講することが、更新試験を受験する条件となる。 ○更新試験で所定の成績を収めることで、中級認定者が継続される。	2026年11月2日(月)～30日(月)	全国	外部会場によるCBT方式
がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)小児がん研修	職種は特に問わない	○2025年度までに、初級認定者または中級認定者になっている者。	-	③	無	年1回 5ヵ月程度	無	無	○院内がん登録実務に関する小児がんについての知識・技術の向上を目的とする。 ◎この研修は、小児がん認定試験または小児がん認定更新試験を受験するための条件として位置付ける。	2026年8月3日(月)～12月20日(日)予定		国立がん研究センター がん対策研究所 教育研修管理システム (Eラーニング)
がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)小児がん認定試験	職種は特に問わない	○2025年度までに、初級認定者または中級認定者になっている者で、2026年度がん登録病院等実務者 中級(院内がん登録)小児がん研修受講済の方。	-	③	無	年1回 3週間程度	無	8,800円	○小児がん拠点病院の指定要件にある「国立がん研究センター」の提供する研修で認定を受けておりかつ中級認定者相当の技能を有する者としての認定を行う。 ○認定試験に合格した実務者に認定証書を交付する。	2027年1月8日(金)～31日(日)	全国	外部会場によるCBT方式
がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)小児がん認定更新試験	職種は特に問わない	○がん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)小児がん認定者で、2026年度の小児がん研修受講済の方。	-	③	無	年1回 1ヵ月程度	無	7,700円	○院内がん登録実務者として、知識レベルを一定水準に保つことを目的として、4年に一度認定の更新を行う。 ○2026年度に実施されたがん登録 病院等実務者 中級(院内がん登録)小児がん研修を受験することが、更新試験を受験する条件となる。 ○更新試験で所定の成績を収めることで、小児がん認定者が継続される。	2026年11月2日(月)～30日(月)	全国	外部会場によるCBT方式
がん登録専門領域研修 院内がん登録データ分析研修(医療圏分析・自施設分析)	職種は特に問わない	【医療圏分析】○次のうち都道府県協議会の推薦を受けた者 ・都道府県のがん対策・がん登録担当課の職員 ・院内がん登録実務担当者 ・その他の者	-	②	無	年2回 1日間	無	受講者 19,800円	○がん医療提供体制の均てん化と集約化のために厚生労働省から提供されたデータを用いて、医療圏分析を行うことを目的とする。がん登録データの分析、発表のグループワークを行う。院内がん登録実務担当者や都道府県のがん対策・がん登録担当課の職員で都道府県協議会の推薦を得たものが参加可能である。	2026年7月14日(火)		Zoomによるオンライン研修
							無	聴講者 4,400円	○院内がん登録症例検索システムおよび自施設の院内がん登録データを用いて、自施設のがん診療の分析を行うことを目的とする。がん登録データの分析、発表のグループワークを行う。院内がん登録症例集計参加施設の院内がん登録実務担当者が参加可能である。	2026年10月20日(火)		Zoomによるオンライン研修
がん登録専門領域研修 院内がん登録データ分析研修(標準集計表・研究目的データ)	職種は特に問わない	○都道府県のがん対策・がん登録担当課の職員 ○都道府県のがん登録室に勤務するがん登録実務者	-	②	無	年2回 1日間	無	19,800円	○全国がん登録システムから抽出した標準集計表を分かりやすい図で示すことを目的とする。都道府県のがん対策・がん登録担当課の職員または都道府県のがん登録室に勤務するがん登録実務者が参加可能である。	2026年6月16日(火)		Zoomによるオンライン研修
							無	無	○全国がん登録システムから抽出した研究目的データを分かりやすい図表で示すことを目的とする。都道府県のがん対策・がん登録担当課の職員または都道府県のがん登録室に勤務するがん登録実務者が参加可能である。	2026年9月8日(火)		Zoomによるオンライン研修
がん登録 都道府県行政担当者・がん登録室実務者研修	行政担当者 都道府県がん登録実務者	○都道府県のがん対策・がん登録担当課の職員。 ○都道府県のがん登録室に勤務するがん登録実務者	-	その他	無	年1回 10ヵ月程度	無	無	○都道府県がん登録情報を活用したがん対策事業の企画支援を目的として、全国がん登録事業や統計の基礎、登録資料の活用方法などを講習します。 ○全国がん登録実務の基礎講習として、都道府県がん登録室の実務者の基礎的 技能習得を目的とする。	2026年5月25日(月)～2027年3月12日(金)		国立がん研究センター がん対策研究所 教育研修管理システム (Eラーニング)

都道府県がん診療連携拠点病院医療者対象「骨転移診療の質の向上をチームで考えよう！」		医師、看護師、薬剤師、リハビリ、MSW等(3名以上のチーム)として参加	都道府県がん診療連携拠点病院等に勤務する骨転移診療に関わる整形外科、放射線科、緩和ケア科、腫瘍内科、がん治療、リハビリ、薬剤師、MSW、骨転移診療の質の向上に携わる職員。	-	⑤	無	年3回 半日	36チーム	無	骨転移診療の質を向上するために、都道府県がん診療連携病院等の多職種職員が、チームで自施設での取り組みを見直すとともに、自都道府県においてどのような取組ができそうか検討し、実際に展開できることを目的とする。	2026年8月～12月の期間3回		オンライン研修
がん診療連携拠点病院 医療スタッフ研修 「がんと経済毒性に向き合うー実践に生かす多職種研修」		職種は特に問わない	・医療従事者： がん診療連携拠点病院等に従事する医師・看護師・薬剤師・がん専門相談員・事務職など ・就労支援の専門家： 「がん患者の就労に関する総合支援事業」等で相談支援センターに配置されている 社会保険労務士・産業カウンセラー・キャリアコンサルタントなど	-	②	無	年1回	13チーム 70名程度	無	がん患者の経済的課題を早期に把握し、適切な支援へとつなげるための基本的な考え方を共有することを目的とする。あわせて、「気づき・説明・つなぐ劇(医療者)」と「具体的支援を担う劇(がん専門相談員等)」それぞれの役割を整理する。さらに、多施設・多職種で実践を振り返り、自施設における院内連携の強化に向けたアクションプランの作成を行う。	2026年7月25日(土) (事前課題としてEラーニング視聴あり)		オンライン研修
地域緩和ケア連携調整員研修	Eラーニングコース	職種は特に問わない	・院内や地域でがん患者に関わる連携業務を担う者を対象とする		その他	無	年1回 半年間程	無	無	○地域全体で緩和ケアを推進していくために、二次医療圏レベルでの顔の見える関係づくりを促し、連携における地域の課題が整理され解決されるよう、地域の医療機関等の間のネットワークを築いていく人材の育成を目的とする。	2026年8月～2027年2月		国立がん研究センター がん対策研究所 教育研修管理システム (Eラーニング)
	ベーシックコース	右参照	これから地域緩和ケア連携に取り組むがん診療連携拠点病院等で、地域との後方連携体制を構築していく上で、院内で中心的役割を担う以下の者を含む複数名からなるチームを対象とする ①がん診療連携拠点病院等で地域連携(後方連携)の業務に従事している者(看護師や医療ソーシャルワーカー等、複数可) ②がん診療連携拠点病院等で地域連携(後方連携)の業務を行う部門の責任者(副院長、センター長、部長、室長等、または現場責任者でも可) ※参加者は、原則①と②を含む3名以上		②	無	年2回 1日時間	各回6チーム (30名程度)	無	○地域全体で緩和ケアを推進していくために、二次医療圏レベルでの顔の見える関係づくりを促し、連携における地域の課題が整理され解決されるよう、地域の医療機関等の間のネットワークを築いていく人材の育成を目的とする。 【ベーシックコース】 地域緩和ケア連携体制を構築していきたいが、何から始めればいいのか分からないというがん診療連携拠点病院の医療従事者の方々に、地域の医療福祉機関等との関係づくりにおける留意点や工夫などを院内連携、院外連携両方の視点から学び、講義やグループワークから地域を俯瞰する視点を養い、地域との関係づくりの具体的なイメージを持ち、連携構築の計画を立てることを目的とする。	2026年10月に2回		第1回、2回ともオンライン研修 ※初めて受講する方は事前にEラーニングコースの受講必須
	アドバンスコース	医師、薬剤師、看護師、MSW ※右参照	地域の中で勉強会やカンファレンスが定期的に開催される等、地域の医療従事者同士が顔を合わせ意見交換する機会があるような地域を対象とします。がん診療連携拠点病院等における、地域との後方連携体制の中心的役割を担う以下の2名、地域の医療福祉従事者を含む複数名からなるチームを対象とする ①がん診療連携拠点病院等で地域連携(後方連携)の業務に従事している者(医師、薬剤師、看護師、MSWおよび事務、その他複数可) ②がん診療連携拠点病院等で地域連携(後方連携)の業務を行う部門の責任者(副院長、センター長、部長、室長等、) ③上記がん診療連携拠点病院と連携を行っている地域の医療福祉従事者(病院、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、役所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等、複数可) ※参加者は、原則①は必須、②、③を含む3名以上		その他	無	年1回 1日時間	12チーム (60名程度)	無	○地域全体で緩和ケアを推進していくために、二次医療圏レベルでの顔の見える関係づくりを促し、連携における地域の課題が整理され解決されるよう、地域の医療機関等の間のネットワークを築いていく人材の育成を目的とする。 【アドバンスコース】 地域連携の体制として、勉強会や地域でのケースカンファレンスが定期的に開催される等、地域の医療従事者同士が顔を合わせ意見交換する機会があるような地域を対象とし、がん診療連携拠点病院の医療従事者と地域の医療福祉従事者がともに参加し、他の地域と情報交換を行い、事例を聞き、話し合いを持つことで、課題解決のヒントを得ることとする。	2026年12月		オンライン研修 ※初めて受講する方は事前にEラーニングコースの受講必須
	地域緩和ケア連携調整員フォーラム	右参照	以下のいずれかに該当する方を対象とする。 ①がん診療連携拠点病院で地域連携(後方連携)の業務に従事している、あるいは従事する意思がある者(看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職、医師、薬剤師等) ②がん診療連携拠点病院で地域連携(後方連携)の業務を行う部門の責任者(副院長、センター長、部長、室長等、研修の成果を病院や地域内で新たな企画として提案できる立場にある者) ③上記がん診療連携拠点病院と連携を行っている、あるいは連携を行う意思のある地域の医療福祉従事者(病院、在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、行政機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、保険薬局等) ④がん患者の地域における緩和ケアに携わる者		その他	無	年1回 1日時間	450名程度	無	○地域緩和ケア連携体制を構築していきたいが、何から始めればいいのか分からないというがん診療連携拠点病院の医療従事者の方々ががん診療連携拠点病院と連携を行うことが想定される地域の医療福祉従事者の方々が、地域緩和ケア連携調整員の役割や活動例から学び、地域緩和ケア連携調整員としての活動を始めるきっかけ作りを目的とします。 ○地域緩和ケア連携調整員研修修了後に、それぞれの地域で実践している取り組みから課題解決するためのヒントを得て、地域での活動に役立てることを目的とします。	未定		オンライン研修
全国がん検診指導者研修		右参照	・都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会(胃がん部会、大腸がん部会、肺がん部会、乳がん部会、子宮がん部会)の関係者(会長、副会長等)、及び医師会関係者 ・都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関職員も受講は可能	-	その他	無	年1回(4カ月)	無	無	がん対策推進基本計画等で掲げられている、都道府県主導によるがん検診精度管理推進の支援。各都道府県の検診指導者及び従事者にとって必要な知識とスキルの習得を目指す。	2026年6月22日(月)～2026年10月23日(金)		オンライン研修 (Eラーニングにて実施)
全国がん検診従事者研修	基礎	右参照	住民検診に携わるとがん検診従事者(都道府県及び市区町村の行政担当者、保健所職員、検診機関の職員、医師会関係者など)主に初任者	-	その他	無	年1回(6カ月)	無	無	都道府県、市区町村、検診機関などのがん検診従事者が、住民検診を実施するうえで最低限必要な基礎知識を習得することを目指す(がん検診の有効性評価、精度管理等)。主にがん検診初任者向けの基礎研修。	2026年4月22日(水)～10月23日(金)		オンライン研修 (Eラーニングにて実施)
	実務	右参照	住民検診の運営・実務に関わる方すべて(都道府県/市区町村/検診機関の職員、都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会の関係者、医師会関係者など)	-	その他	無	年1回(6カ月)	無	無	がん検診の基礎知識を踏まえて、がん検診従事者が、精度管理を実践するうえで必要な知識や技術を習得することを目指す。 がん検診のアセスメント(有効性評価)、マネジメント(精度管理)、各部位別検診の精度管理要点。	2026年4月22日(水)～10月23日(金)		オンライン研修 (Eラーニングにて実施)